

# 流域下水道50周年記念シンポジウム を開催しました！！

「流域下水道」は、昭和40年に全国に先駆けて、大阪府の寝屋川流域下水道で事業開始し、今年度で50周年を迎えました。50年間で、大阪府の下水道普及率は95%を超えました（全国第3位）。

今後は、持続的な下水道機能・サービス提供のために老朽化する施設の改築・更新など、「建設から維持管理」の時代を本格的に迎えることとなります。さらに、近年ではゲリラ豪雨対策や環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会の構築が求められているなかで、流域下水道に求められる役割も多様化しています。

そこで、これまでの50年間で培った技術の伝承や、下水道ストックの有効活用を踏まえた将来の下水道行政のあり方などについて考えることを目的として、「流域下水道50周年記念シンポジウム」を開催しました。



## 『流域下水道50周年記念シンポジウム』

日時：平成28年1月15日（金）13時00分～16時35分

会場：クレオ大阪中央（大阪市立男女共同参画センター中央館）

（主催）大阪府

（後援）国土交通省／大阪府下水道事業促進協議会／一般財団法人都市技術センター

（協力）日本グラウンドマンホール工業会

参加者数：725人

主な参加者：一般市民、企業・関係団体、行政（国、近畿府県・市町村）

## 《 プログラム 》

- 13:00 ～ 13:10 開会挨拶 大阪府知事 松井 一郎
- 13:10 ～ 13:20 来賓者挨拶
- 13:20 ～ 13:35 新マンホールふたデザイン発表・表彰
- 13:35 ～ 14:05 事業紹介『流域下水道50年のあゆみ ～50年を彩った歌にのせて～』  
大阪府都市整備部下水道室長 長谷川 明巧  
コスモスローズバンド&バガボンズ
- 14:05 ～ 14:15 休憩（ビデオ上映）
- 14:15 ～ 14:55 記念講演  
『これまでの50年とこれからの下水道の展開 ～新下水道ビジョンをふまえて～』  
国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 塩路 勝久
- 14:55 ～ 15:05 休憩（ビデオ上映）
- 15:05 ～ 16:25 パネルディスカッション『温故知新、ストックを活用した下水道の将来展望』
- 16:25 ～ 16:35 閉会挨拶

▼過去の写真・パネルの展示や流域下水道創成期のビデオ上映も併せて行いました。



松井知事の挨拶で華々しく開会！



国土交通省水管理・国土保全局 塩路下水道部長（左）、大阪府下水道事業促進協議会会長 信貴 岸和田市長（右）から来賓挨拶をいただきました。



大阪府流域下水道の新しいマンホールふたデザインの最優秀作品および優秀作品の表彰式を行いました。マンホールのデザインは、全国から 208 件の応募をいただき、最優秀作品を決めるための一般投票には、3269 件もの投票がありました。最優秀作品は、大阪府流域下水道の新しいマンホールふたとして今後府内各所に設置します！



▲栄えある最優秀賞は、大阪市在住、田中さんの作品に決定！！

大阪府長谷川下水道室長とコスモスローズバンド&バガボonzによる流域下水道 50 年の歩みの報告。50 周年を記念した新曲『Ms.MIRAI- II (水みらい II)』もお披露目されました。



国土交通省 塩路下水道部長から、新下水道ビジョンを踏まえた下水道の将来の展開について記念講演をいただきました。



パネルディスカッションでは、下水道に携わる様々な立場（行政（国、府、市町村）、民間、学識、G J…）から「ストックを活用した下水道行政の将来のあり方」について、活発な議論が行われました。



- コーディネーター：津野 洋（大阪産業大学教授）
- パネリスト：岩崎 淳（岩崎公認会計士事務所所長）
- 杉本 容子（㈱ワイキューブラボ代表取締役）
- 矢部 高啓（千早赤阪村施設整備課主査、下水道事業促進協議会公共下水道部会長）
- 玉城 伸子（摂津市土木下水道部下水道事業課計画係長、G Jリンクメンバー）
- 小林 保（大阪府都市整備部下水道室事業課長）
- アドバイザー：塩路 勝久（国土交通省水管理・国土保全局下水道部長）

閉会挨拶は大阪府 兜玉経営企画課長



シンポジウムは、下水道行政の原点を見つめ直し、これからの展開を考えるよい機会となりました。流域下水道は大きな転換期を迎えています、下水道の潜在力を発揮し、新時代を切り拓きます！

